

平成26年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立有鹿小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

●「話す・聞く」能力に優れています。

話合いの観点に基づいて情報を関係付ける力が試される問題では、話合いの記録の仕方として適切なものを正しく選択することができます。

●「漢字の読み・書き」の能力に優れています。

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり(標識、街灯、勢い)、書いたり(皿、祝う、予防)することができます。

●「書く」能力に優れています。

「登場人物の淋しい心情を表現する方法として情景描写の手法を用いることが効果的であることを理解し、表現する力」は、比較的よくできています。

《努力を要する所》

●「言語についての知識・理解」、「読む力」がもう少しです。

故事成語(五十歩百歩、百聞は一見にしかず)の使い方として適切なものを選択する問題では、言葉の持つ意味を十分に理解できていないことによる誤答が多く見られました。

物語の登場人物の相互の関係を読み取る問題はよくできていましたが、「新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える力」に課題が見られます。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

●「話す・聞く」能力に優れています。

「目的に応じて話合いの観点を整理する」、「質問の意図を捉える」能力に優れています。

特に、「司会者として、発言された提案や意見を整理し要約しながら話合いを進めること」が求められる問題は、比較的よくできています。

●「表現の工夫を捉える」能力に優れています。

二つの詩を比べながら読み、内容や表現の工夫を捉える問題は、概ねよくできています。



《努力を要する所》

●「科学に関する本や文章などを効果的に読んでまとめる力」がもう少しです。

「分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く力」や「課題を解決するために、目次や索引を活用して本を効果的に読む力」を見る問題では、課題が見られます。

●「詩を読む力」がもう少しです。

「詩の解釈における着眼点の違いを捉えたり、二つの詩を読み自分の考えを書いたりする力」に課題が見られます。

今後の具体的な取組

- ◆ 漢字を正しく読んだり書いたりすることができるよう、漢字の書き取り練習や小テスト等、これまで実施してきた取組を継続します。また、実生活で習得した漢字を適切に使えるよう指導していきます。
- ◆ 故事成語やことわざ、慣用句に触れる機会を設けることで興味を持たせ、発表や作文等で意図的に活用できるよう指導していきます。
- ◆ 科学に関する本や文章を効果的に読む力を伸ばすため、読書活動を充実させるとともに、分かったことや疑問に思ったことを、条件に応じてまとめた文章にして書く指導を充実させます。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

●「計算の技能」に優れています。

整数、小数、分数の計算をよく理解し、正しく計算できています。特に「小数第1位までの減法(整数－小数)」や「減法と乗法の混合した整数の計算」が優れています。

●「立体図形や数量関係についての知識・理解」に優れています。

立体図形とその見取り図の辺や面のつながり、位置関係について、概ねよく理解できています。

「四則の混合した式($100 - 20 \times 4$)の意味」についてもよく理解できています。

《努力を要する所》

●「単位量当たりの大きさの求め方」についての理解がもう少しです。

「二つの数量関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図を関連付けること」や「単位量当たりの大きさの求め方」についての理解に課題が見られます。

●「体積の単位(1cm^3)と求め方」や「作図」についての理解がもう少しです。

特に、「平行四辺形の作図に用いられている図形の約束や性質」についての理解に課題が見られます。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

●「数量や図形についての技能」に優れています。

「計算の結果の見通しを持ち、(2位数)×(1位数)の筆算をする」、「基準量と比較量を捉え、倍を求める」問題は、全体的によくできています。

「条件を基に残った平面に4つの長方形を敷き詰める」、「繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、小節数を求める」問題も比較的よくできています。

●「数量や図形についての知識・理解」に優れています。

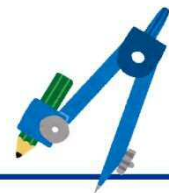
全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択する力を見る問題は、概ねよくできています。

《努力を要する所》

●「数学的な考え方」がもう少しです。

「示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述する」、「示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述する」力に課題が見られます。

「最大値に着目し棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述する」力ももう少しです。



今後の具体的な取組

- ◆ 計算の技能は基本となる学力なので、今後も授業等で正確に解き進めることができるよう継続的に指導し、確実な定着を図ります。
- ◆ 単位量当たりの大きさの学習では、図や数直線、式や言葉等を用いながら具体的な操作をするなどの工夫をし、理解しやすい授業を進めていきます。
- ◆ 作図の学習では、実際に道具を用いて作図を行う学習を大切にしながら、作図の操作と図形の性質を関連付けて作図の意味を理解できるようにします。
- ◆ 根拠となる事実を基に問題解決の方法を考え、話し合ったり説明したりする学習を充実させ、論理的に思考する力の伸長を目指します。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 話し合い活動で自分の考えを深めたり広めたりすることができている児童は75%で、全国よりやや高い結果です。
- 算数の勉強が「好き、どちらかといえば好き」と答えた児童は70%で、全国よりやや高い結果です。
- 学校の宿題をしている児童は97%で、家庭学習の定着が窺えます。
- 読書が「好き、どちらかといえば好き」と答えた児童は78%で、全国をやや上回っています。もっと増えることを期待しています。

《課題と思われる所》

- 家で自分で計画を立てて勉強をしている児童は57%で、全国よりやや低い結果でした。
- 国語の文章で解答する問題では、解答を諦めた児童が29%います。算数でも、解き方が分からない問題を諦めた児童が21%います。粘り強く取り組む姿勢がもう少しです。
- 調査問題で解答時間が足りなかったと回答している児童が、国語Aで24%、国語Bで61%います。

生活について

《よかった所》

- 朝食を毎日食べている児童は97%で、全国とほぼ同じです。朝食をとる習慣が定着しています。
- ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあると感じている児童は95%です。達成感、自信や新たな意欲につながります。
- 友達との約束を守っている児童は99%で、全国とほぼ同じです。
- 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童は94%です。優しさや思いやりを大切にしていることが窺えます。

《課題と思われる所》

- 毎日同じくらいの時刻に寝ている児童は74%で全国より低く、26%の児童は不規則な生活が心配されます。
- 普段(月～金)2時間以上テレビやビデオを見ている児童が60%います。中には4時間以上もいます。2時間以上テレビゲーム等をしている児童は34%です。
- 学校の決まりを守っていると回答した児童は85%で、全国より低い結果です。規範意識の向上が必要です。

(注)割合は、同様の回答(例:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)を合わせた数値で表しています。

今後の具体的な取組

[学習面]

- ◆ 学年×10分を目標に取り組んでいる家庭学習を、今後も継続していきます。また、宿題だけでなく自分で計画的に予習や復習ができるよう、家庭の協力をいただきながら指導していきます。
- ◆ 授業での読書指導や朝読書等の取組を継続するとともに、学校図書館支援員を活用して調べ学習を進める等、読書活動の充実を図ります。
- ◆ 諦めずに根気よく学習に取り組めるよう指導していきます。また、学習内容と実生活との関連を図り、児童がより意欲的に取り組む指導を心がけます。

[生活面]

- ◆ 基本的な生活習慣の定着に向け、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、学校と家庭が連携・協力しながら指導していきます。
- ◆ 同学年や異学年との関わり合いの中で、集団の規律を守る心や思いやり・やさしさ等の心情を育てる取組を継続していきます。



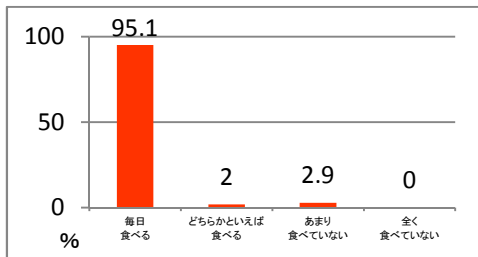
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 毎日朝ごはんを食べましょう！

朝ごはんは、1日を元気に過ごすためのエネルギーです。毎日しっかり食べて登校するようにしましょう。

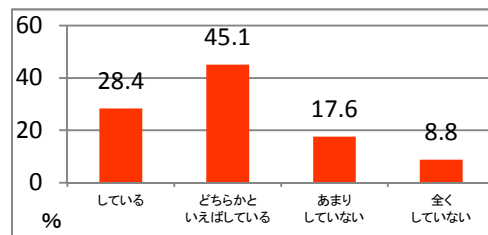
朝食を毎日食べていますか



2 規則正しい生活をしましょう！

いつも決まった時刻に寝たり起きたりすることで生活のリズムができ、毎日元気に気持ちよく過ごすことができます。

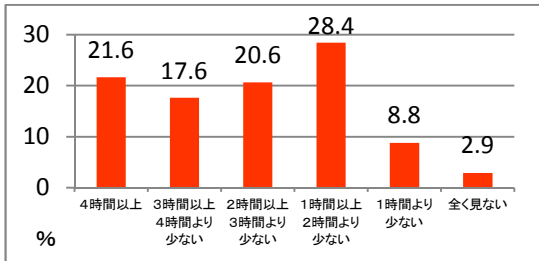
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



3 テレビやゲームの約束を決めましょう！

テレビを見る時間、ゲームをする時間の約束を親子で話し合い、きちんと決めて守るようにしましょう。

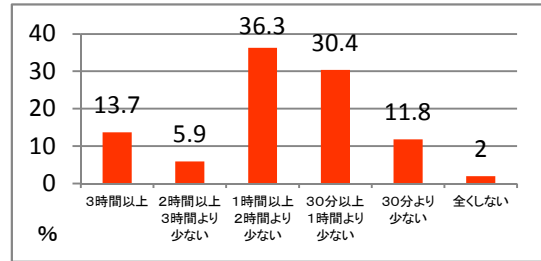
普段一日当たりどれぐらいの時間テレビやビデオを見ていますか



4 家庭学習の習慣をつけましょう！

いつ家庭学習をするか決めておきましょう。時間は、学年×10分が目安です。

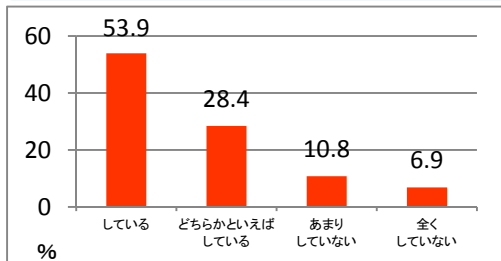
普段一日当たりどれぐらいの時間勉強しますか



5 家族でたくさん話しましょう！

学校や放課後の出来事などについて、ゆっくりと話す時間を作りましょう。

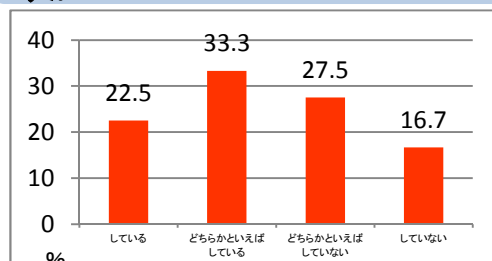
家の人と学校での出来事について話をしますか



6 地域の行事に進んで参加しましょう！

地域の行事に参加することでたくさんの方々を知り合いになることができ、触れ合い・交流の輪が広がります。

住んでいる地域の行事に参加していますか



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....
市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



.....
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....
体力・運動能力の向上をめざします。



.....
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会



平成26年12月